



第434回 9/5(火)「大和市民母親クラブ連絡協議会」

会長 森園廣子さん 理事 武蔵和子さん

昭和46年、地域の母親がグループを作るようになり翌年、「大和市民母親クラブ連絡協議会」設立。目的は、地域のお子さんのしあわせのため。親同士の情報交換や交流が、また子どもに帰っていく…その交流の部分も大きな目的の一つであるとのこと。〈子どもたちの居場所づくり〉〈母子の交流の場づくり〉〈地域との交流の場づくり〉を軸に活動しています。武蔵さん『子どもの笑顔それが一番!』、森園さん『今日の日を無駄にしないで過ごそう』が活動の原動力。幼いころは身体が弱く外に出て遊べなかった。「子どもたちの遊ぶ声を…あの笑顔を…今日の日に行き届けていこう」を思い、今に至っています。



今回の出演 436回 10/3「KTIフレンド」 437回 10/17「プラービ」 438回 10/31「LELEND」

FMやまと 77.7MHz 第1.3.5(火) 生放送 9:00 ~ 9:30 同日再放送 15:00~15:30

第435回 9/19(火)「グロリアのスペイン語」

代表 グロリア・ロブレス・ヴェラスケスさん
会員 大庭康夫さん、ふじかわ緑さん

グロリアさんはペルーの出身。スペイン語教師で、2021年に「グロリアのスペイン語」を立ち上げ、今年4月から「やさしいスペイン語」「楽しいスペイン語」を開いています。

毎月第1・第3日曜日に、10時から11時まで「楽しいスペイン語」、11時半から12時半まで「やさしいスペイン語」をやっています。ワークショップについてもっと知りたい方は、第1・第3の日曜日 11:00~11:30に、ホテルギウスの大和市民活動センター会議室にグロリアさんがいますのでお声掛け下さい。



TSUBASA's トーク 第24回 「NPOが運営する“インコカフェ”を体験」

☆鳥好きの母に連れられて

自宅での療養生活とオンラインでの就職活動で引きこもり、家にいるのも「もう限界!」。ストレスの溜まっていた僕は、母に「どこかへ出掛けよう」「場所は決めて」と丸投げしました。

そこで母に連れられて行ったのは、小田急線の長後駅近くにある「ふれあいインコカフェ」。母は家で何年もインコを飼うほどの鳥好きでカフェのことも「ブログで見て気になっていた」とのこと。



インコカフェはNPO法人「ことりのおうち」が運営していて、他にも藤沢市の長後を拠点に、シェアカフェや子ども食堂、インコなどの小動物の保護活動に取り組んでいるそうです。これを知った僕は「これは大和市民活動センターの記事のネタになる!」と思い立ち、母について行きました。

☆色々な個性のインコと過ごす1時間

インコカフェは一軒家の一階を改装したような作りで、店の外からも鳥の声が聞こえてきます。店内のカフェの部屋は、四方の壁が鳥籠で埋め込まれたようになっていて、その中で大勢のインコが鳴いています。20代くらいの職員の方2人が運営や世話をしているようでした。

僕らは入り口で1時間分の料金を払い、そのカフェ内へ。大勢のインコの鳴き声が反響してとても賑やか!

店員さんが何羽かインコを出してくれて、鳥の方から飛んで近づいてきました。鳥を手に乗せたり、なでたりできるほど懐いています。



僕が一匹のインコをなでていると、他のインコが腹を立てて気を引くように鳴いたり、ケンカを始めたりということもあり、嫉妬したり甘えたがったりする個性が分かり面白いです。



言葉を覚えているインコもいて、時々人から呼ばれた気になり振り向いてしまう時がありました。

☆カフェの売り上げはNPOの活動資金に

会計時に職員の方から話を聞くと、「売り上げが資金としてNPOの活動に使われていて、この『ことりのおうち』は大部分の資金源になっています」とのこと。

インコ関連のチャリティグッズも売られていて、中でも印象的だったのは、インコ柄の中着や弁当入れなどの雑貨です。作家さんが完全に寄付という形でお店に品出しされていて、売り上げのすべてを寄付に充てているそうです。

母いわく「鳥の保護活動のためならいくらでも買うよ」。また家にインコのグッズが増えました。

リフレッシュを目指したお出掛けは、近場の動物カフェで手軽に楽しく遊んだ感じでとても良かったです。しかもNPOで飼っているインコと直接ふれあい、それに対してお金を払ったので、寄付金が本当に保護などに使われるのだろうかという実感を持ってました。僕もインコのマニアになってしまいました。(サポーター 尾畑 翼)



大和市民活動センターは「大和市新しい公共を創造する市民活動推進条例」に基づいて設置されています。

「あの手 この手」第195号 発行日:2023年10月10日

発行:大和市民活動センター 拠点やまと

大和市民活動センター <開館日 月~土 9:00~18:00>
<休館日 12月29日~1月3日・毎月第3日曜日>
〒242-0018 大和市深見西1-2-17

TEL:046-260-2586 FAX:046-205-5788
e-mail:yamato@ar.wakwak.com
http://www.kyodounokyoten.com/

あの手この手で考えて、あの手この手で問題解決!

あの手 この手

あの手この手のマークの間のSは solution(解決)のSです。

第195号 2023年10月10日 大和市民活動センター[拠点やまと] 発行

10月号
2023



ホテルギウス玄関
10月5日の生け花



表紙絵は、
「やまと国際フレンドクラブ」(IFC)主催
「第16回やまと国際アートフェスタ」
(9月29日~10月1日:シリウスギャラリーにて開催)の入賞作品を今号から、
順次掲載してまいります。

今回のテーマ
~ ここから、未来へ ~

インターナショナル賞
アーリヤさん
上和田小学校1年生 スリランカ

タイトル:「わたしのかぞく」

メッセージ:

「ちきゅうをしあわせにしたいという
きもちで、しあわせな わたしのかぞくを
かきました。」

はしごにのぼっている男の子が かいて
いるのは、虹と星で、しあわせなかぞく
の上にひろがっています。
みんながしあわせになりますように。」

*「やまと国際アートフェスタ」は
「やまと国際フレンドクラブ」(IFC) *の主催で
毎年催されています。

*草の根の国際交流、外国人支援を行いながら
「ともにくらすまち 大和」を考えるボランティア
グループです。

市民活動団体交流まつり

カックオフフェスタ'23

日時:12月17日(日)

10:00~13:00

場所:市民活動拠点 ベテルギウス

- ★ 展示、体験、パフォーマンス、販売
あなたの団体は、日頃の活動を
どんなスタイルで表現しますか?
- ★ まずは、日程決定のご案内です



参加団体募集! (詳細は 募集チラシをご覧ください)

申込締切:11月11日(土)

抽選:11月15日(水) 15:30~

1階

市民交流スペース:6団体 会議室:2団体 多目的室:1団体

2階

会議室:6団体(パフォーマンス)

その他に「掲示コーナー」を設けます。

夏休み中高生ボランティア「このゆびとまれっ！」 アンケート集計より

猛暑だった夏。「このゆびにとまった」高校生にとってはそれぞれ、心に残った夏になりました

- <協力団体>
- ・ NPO 法人 WE21 ジャパン大和 (国際交流支援サポーター)
 - ・ 子育てほっとサロン「たんぽぽ」 (子育て支援サポーター)
 - ・ デイサービス ハッピー鶴間 (高齢者支援サポーター)
 - ・ 大和芸術文化振興会 (芸術・文化支援サポーター)

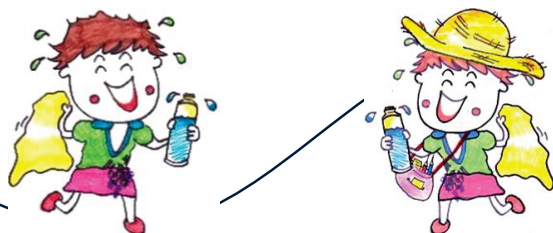
<オリエンテーション>
7月21日(金)・7月29日(土)
<活動期間>
7月24日(月)～8月30日(水)

参加人数 27名 (延べ46名)
参加高校 15校

*「活動のまとめ」小冊子より 一部抜粋

<ボランティア活動をして、どんなふう感じましたか>

- 最初は不安だったが、施設の皆様方が優しく、何回かボランティアをしているうちに自分にも自信が付いた様な気がします。
- 施設の方から「楽しかった、また来てほしい」など言ってもらえて嬉しかった。午前中に演奏会を聴けて良かった。高校3年生だから来年 このゆびとまれ に参加することが出来ないから寂しい。また参加できる機会があれば参加したいです。
- 笑顔をたくさん見ることができて嬉しかったです。
- お店の準備の仕方を学んだり、値札をつけたり、商品を置いたりなど、実際にやる事が出来て良かった。おもしろかった。けれど、休む暇はほとんどなく全体的に少し大変だった。日常では全然あじわうことの出来ない体験ができ、とてもおもしろかった。
- 普段あんまり話すことのない年代の人達と話すことができて新鮮だった。ノリで申し込んだけど、楽しかったし良い経験ができた!
- 多くの人と会話をして 有意義な時間を過ごすことができた。
- 小さい子達が喜んでるのを見て達成感があった。ボランティアをしたかいたがあった。
- このボランティアでやった事がきっかけで他のボランティアで緊張せずにできた事です。
- 地域の方と交流ができてよかった。うちわに描く絵が人によって違ってて絵の具を使って花火を表現したり、色鉛筆で花に色をつけている人もいて表現の自由をかなり勉強できた。



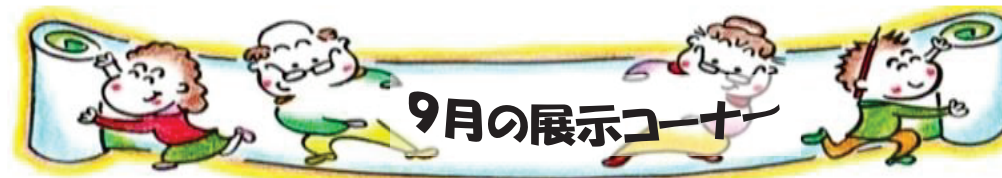
<どのような思いでボランティア活動をやってみようと思われましたか>

- 心理学について大学で学びたい為、いろんな社会体験をし、人間関係の関わりに慣れていきたい。
- 母の仕事場に行って、ボランティアをしたことがある。だから、他のボランティアをやってみようと思った。
- ボランティアサークルで部長をしていて、興味を持ったことです。
- 夏休み中、暇な日を過ごすよりは何か自分に出来る事がないかと思い、ボランティアを始めました。また、ボランティアをすることで自分自身が変わるきっかけになればと思い始めました。



<今回参加して、「自分が成長したな」と思ったこと、あるいは得たものはなんですか>

- 高齢者は生活の中でいろんな不便はあるが、サポートする側として手伝うことは大切だけど高齢者自身自分でやることも大切だとわかった。
- 人によって介護の方法はそれぞれ違って、利用者様が快適に過ごせるようにサポートすることが大切だとわかりました。
- 商品をお店にだすだけでも、商品状態の確認・値つけ入れかえといった、いくつもの工程があると知り、お客さんに提供するのも大変であるのだということは今更ながら感じた。
- 物を譲ってくれる人、売る人、買ってくれる人で成り立っており、皆のサービス精神のおかげで回っているのだと思いました。これは経営学と同じことだと思い、貴重な体験ができました。
- 私はバイトをしているのですが、「バイト」ではなく、「ボランティア」として体験をしていて、ボランティアは完全に個人のサービス精神で行っているのだと思いました。普段なら経験できないような人と物の関わりを学べてよかったです。
- 年齢の違う方々とお話して、自分とは違う考えや意見を聞けました。
- 小さな子やその保護者の方々、お年寄りなど、年齢の違う方々とお話する楽しさを学びました。
- ボランティアを通して様々な人とコミュニケーションをとることができ勉強になりました。
- 人に関わる大切さや、楽しさを知ることができた。
- 子どもたちのきもちに寄り添うこと。
- このように親同士、子同士が交流できる機会があることは、親と子どものどちらにとっても新しい発見や成長につながり、交流が少ない現代社会においてはとても良い効果を持つと感じました。



市民交流スペース内の「展示コーナー」では、個人・団体の活動の紹介や作品展を行うことができます。申込み方法については、大和市民活動センターまでお問い合わせください。

「Story Time」

「英語の楽しさを絵本や歌を通じて体験してもらう」ことを目的に活動しています。



共育ボードより ☆頑張ってきてよかった。ありがとう。☆楽しそうですね。活動も仲良しみんなで明るい感じがします。頑張ってくださいね。☆とても楽しそうです!日本語で親しんでいた絵本が英語だとこんな表現なんだ!と発見があったり。☆紙芝居すごいです。☆楽しそうな英語のお話し会、機会があれば参加してみたい「うらしまろう」ききたい! ☆みんなだいすきです。☆The Sky is Falling ☆すてきですね子どもに夢を!! ☆Story Timeさんの展示見に来ました。Amazing! ☆だいすきよ ☆たくさんのいい思い出(^^)~ありがとう♡

日本ラグビーは多文化共生を体現(Fの脳内記憶から)

ラグビー・ワールドカップ フランス大会開催中 決勝は10月28日(日本時間29日午前4時開始) **ジャパン優勝!?**



今大会の優勝は、フランス、オールブラックス、アイルランド、南ア、フィジー、ジャパン?

Fのラグビーとの出会いは中学生時代。高校時代に実績のない選手がレギュラーとなって活躍しているW大学のラグビー部に憧れていて、自分も入学して、ラグビーをやろうなど思っていた。後にそれはとんでもないことだと理解するのだが、当時、技術家庭科の先生が、ラグビー好きだったようで、1月の授業で、「昨日のラグビー日本選手権を観た人」いますかと聞いた時に、手を挙げたのが、クラスでFだけだったことを鮮明に覚えている。

その後、Fは公立高校に入学するが、人生で、一番体力があったと思われる2年生の時、体育大出身の体育教師が、1年間授業で、ラグビーとほんの少し、体操の平行棒というすごく偏ったカリキュラムを組んだ(と記憶している)。ぼくのポジションは、スクラム最前列のフッカー。スクラムからボールが出て、やっと立ち上がって遠くを見ると楕円のボールは遙か前方。追いつきようがない。ラインアウトのジャンパーもやっていたのだが、ぼくがジャンプしてタップして、スクラムハーフがトライしたときが一番気持ちよかった。当時は大学ラグビーが全盛だったが、その後社会人チームが強化を始めて、大学勢は社会人に勝てなくなり、人気も社会人に少しずつ移っていく(当然のことだが)。秩父宮ラグビー場(1991年1月8日)で、神戸製鋼の快速ウイング、イアン・ウィリアムスが、さよならトライで三洋電機(今の埼玉ワイルドナイツの前身)の社会人大会初優勝を阻んだ映像と三洋宮地監督の悔し涙を鮮明に覚えている。

フランスでラグビーワールドカップが開催。ラグビーは、オリンピックでは7人制なので、ワールドカップが最高の舞台。サッカーと同様にイギリスは、アイルランド、スコットランド、ウェールズ、イングランドと4つの地域の代表が出場する。また、各国の代表選手資格規定は、「その国・地域生まれ」、「両親が祖父母の1人がその国・地域生まれ」、「3年以上継続してその国・地域に居住」のいずれかを満たせばよいことになっている。「さよならトライ」のウィリアムズはオーストラリア出身で、元ワラビーズ(オーストラリア代表)であったけど、日本代表にもなった。国内では、高校、大学、リーグワンと多くの外国ルーツの選手が活躍している。今回のジャパンメンバーも過半数が外国ルーツで、多文化共生を体現している。その中で、李承信(スタンドオフ・神戸市出身)は、初めての在日朝鮮人の日本代表選手である。



2019年ワールドカップ決勝前、南アフリカ、イングランドサポーターを写す(横浜国際総合競技場にて)

前述のイギリスの4カ国は、住民たちの往来が盛んだったし、ラグビーが広まったイギリスの植民地でも人がひんばんに行き来し、新たな地で住まいを得て子どもを育てた。国籍にこだわらず、国の代表になれるラグビーならではの発想はこのような背景から生まれ、ルールとして定着したものである。このような寛容さが、「同じ釜の飯を食ったらもう仲間」、戦う相手をもリスペクトし合う土壌を醸成しているのだと思う。ノーサイドの精神である。



2019年9月、Fはイタリア旅行中。ロシア戦の日。ウィナリでジャパンを応援

文責・写真:船越 英一 イラスト:望月 則男